

大会名	2017 Hawke's Bay Cup	日付	2017年4月3日
場所	Hastings (NZL)	天候	雨
試合	第3戦 (予選リーグ)	通算結果	2勝1敗

Country	RESULT				Country	
日本 JAPAN	1	1P	0	-	2	2 オーストラリア Australia
		2P	0	-	0	
		3P	0	-	0	
		4P	1	-	0	

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	錦織 えみ	
✓	3	浅井 悠由	
27	4	八木 麻理菜	
✓	5	高田 結菜	
✓	6	内藤 夏紀	
8	7	一谷 麻実	
8	8	真野 由佳梨	
✓	9	早戸 沙希	
✓	10	湯田 葉月	C
✓	11	松本 夏波	
4	14	清水 美並	
✓	15	永井 友理	
4	16	河村 元美	
✓	17	狐塚 美樹	
16	18	田中秋 桜	GK
✓	19	狩野 真美	
4	20	西永 優衣	
コーチ	長谷部謙二		
UMPIRE	DRISCOLL Mary (USA)		

Start	No.	Name	備考
2	1	NANCE Gabi	
✓	2	NANSCAWEN Georgia	
16	5	WELLS Ashlee	GK
4	6	DWYER Kirstin	
✓	13	BONE Edwina	
✓	14	KERSHAW Stephanie	
✓	15	NOBBS Kaitlin	
3	16	HOLZBERGER Jordyn	
✓	18	CLAXTON Jane-Anne	
✓	19	BARTRAM Jocelyn	GK
4	21	TAYLOR Renee	
✓	22	RATCLIFFE Madi	
7	23	HANNA Kate	
✓	24	WILLIAMS Mariah	
✓	25	FEY Ashlea	
✓	26	SMITH Emily	
✓	28	BATES Kristina	
6	31	BARDEN Laura	
監督	GAUDOIN Paul		
UMPIRE	LIU Xiaoying (CHN)		

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	46	湯田 葉月	PC	1-2

Country	Min	Name	Action	Score
AUS	9	HOLZBERGER Jordyn	FG	0-1
AUS	11	RATCLIFFE Madi	FG	0-2

2017 Hawke's Bay Cup 予選リーグ第3戦は、オーストラリア (WR4) と対戦し、日本は押し気味に試合を展開するが1-2で敗れた。

1st Period
日本のセンターパスにより前半戦が開始される。オーストラリアは素早いサイドチェンジから縦パスで攻撃を仕掛けてくる。日本は全体で移動しながらオーストラリアの攻撃に対応する。3分、自陣でのミスをつけ込まれシュートされるが今大会好調のGK#1景山が落ち着いてクリアする。5分、PCを奪われピンチを迎えるが、ゴールマウザー#2錦織がカットしピンチを凌ぐ。逆に6分、相手サークル付近より#11松本が素早くリスタートしセンターリング。これに#16河村がとび込みゴールを狙うがネットを揺らすことができない。8分、サークル内へ打ち込まれたボールをシュートされるが得点を許さない。9分、一瞬の隙をつかれライト側を崩されるとゴール前で合わされ先制される。続く11分にもサークルトップのFHからつながれ追加点を許す。

2nd Period
17分、自陣から#2錦織、#7一谷、#14清水とつなぎセンターリング。このチャンスに#16河村がシュートするがGKに当たりこぼれる。このリバウンドに#10湯田が反応するが決められない。日本はハイプレッシャーと素早いパス回しでペースをつかむ。更に自陣と中盤の2段階でサイドチェンジをいれ、オーストラリア陣地へ攻め込む。20分、#10湯田がセンターライン付近からドリブルで持ち込みサークル内で待つ#16河村へパスするがGKに防がれる。23分、中盤で#7一谷がボールを奪うとオーバーラップしてきた#15永井にボールが渡る。そのままライト側からまわりこみバッククロスパスを#7一谷がシュートするが決められない。更に日本の攻撃が続く。24分には、#19狩野がライト側をドリブルで突破しながら#8真野へパス。二人かわしながらシュートするが潰される。28分、相手コートで奪ったボールを#7一谷が素早くサークル内へ縦パスを入れる。#16河村が下がりながら難しい体勢でタッチシュートするがGKにセーブされる。終始日本ペースで試合が進むが得点することができず0-2で前半戦を終了する。

3rd Period
オーストラリアのセンターパスにより後半戦が開始される。立ち上がり日本は、オーストラリアのアウトレットミスを見逃さない。ボールを奪い相手コートに攻め込むものの決定的なチャンスを作ることが出来ない。逆に、37分、日本はサークルへの侵入を許しPCを奪われる。オーストラリアのフックシュートを#6内藤がスティックで止める。何としても得点が欲しい日本は、ショートパスとロングボールを駆使しながらオーストラリア陣内に攻め込み好機を作る。そんな中、42分、43分、45分と連続でPCを取得するもの決め切ることが出来ず、第3ピリオド終了。

4th Period
日本の勢いは止まらない。立ち上がりから積極的に高い位置からプレスをかけ攻撃を仕掛ける。46分PCを獲得し、#2浅井がヒットシュート。ゴールキーパーが弾いたボールを#10湯田が素早い反応で押し込み1点を決める。勢いに乗り、追いつき追い越したい日本は、果敢にオーストラリア陣内に攻め込みシュートを打つが決めることが出来ない。その後も50分、52分とPCを取得するが、得点に結びつけることが出来ず、そのまま1-2で終了。今大会初の黒星となった。

知CAD・田中(1)

日本	6 4	PC数 シュート数	3 6	オーストラリア
----	--------	--------------	--------	---------

記載責任者：長谷部謙二
校閲：中村 真理